

県南部で葉いもちの発生が拡大している圃場が多く確認されています。

穂いもちの発生が懸念されるため、圃場を観察し早期防除に努めましょう。

現在の状況

- 1 巡回調査では、7月14日に県南部の複数の地点で、葉いもちの発生が確認されており（7月15日現在、図1）、一部では、上位葉に急性型病斑がみられている（写真1）。
- 2 BLASTAM（アメダスデータを用いた葉いもち感染予測システム）では、6月28日から多くの地点で感染好適条件が出現している（表1）。

防除対策

- 1 圃場を観察し、上位葉（止葉、次葉、第3葉）に葉いもちの発生が見られるところでは、直ちに茎葉散布を行う。
- 2 穂いもち防除
 - ア 予防粒剤で行う場合
 - ・施用前に圃場をよく観察し、葉いもちの発生が確認された場合は、予防粒剤だけでは効果が劣るので、茎葉散布を実施してから粒剤を施用する。
 - イ 茎葉散布で行う場合
 - ・散布は「出穂直前」、「穂揃期」の2回を基本とする。
- 3 予防粒剤や茎葉散布による防除に加えて、次のような場合には、穂揃い1週間後に茎葉散布による防除を実施する。
 - ・葉いもち（特に上位葉）の発生が多い場合。
 - ・穂ばらみ期以降の低温や出穂期以降に降雨が連続するなど天候が不順な場合。

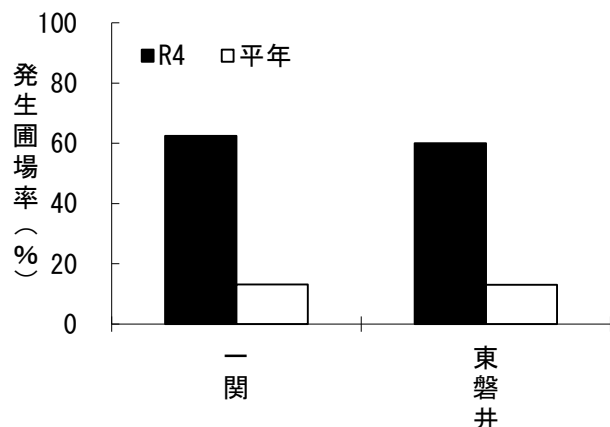


図1 葉いもち発生状況（7月15日現在）

- 1) 100株調査で発病葉が認められた圃場率
- 2) 調査地域：一関・東磐井



写真1 確認された葉いもち
(左:急性型病斑、右:慢性型病斑)

表1 令和4年 BLASTAM判定結果

月/日	← 県北部 →					← 沿岸部 →					← 県中部 →					← 県南部 →																	
	軽	二	荒	種	久	山	奥	葛	普	岩	小	宮	川	山	釜	大	住	遠	大	区	藪	岩	好	雫	湯	盛	紫	北	若	江	一	千	
	米	戸	屋	市	慈	形	山	巻	代	泉	本	古	井	田	石	渡	田	野	迫	界	川	尾	摩	石	内	田	岡	波	上	柳	刺	関	厩
6/25	-	●	-	-	-	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	●		
6/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
6/28	◎	◎	●	-	●	★	●	●	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	●	●	-	-	●	●	★	★	-		
6/29	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★	-	-	-	-		
6/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-		
7/1	-	●	-	-	●	-	●	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	●	-	-	★	-	-	-	-		
7/2	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	-	x	x	-	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	x	x	-		
7/3	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	-	x	x	-	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	-		
7/4	-	x	x	x	-	x	-	-	-	x	-	-	x	-	x	x	-	-	-	-	-	x	-	x	-	-	x	x	-	-	-		
7/5	●	-	x	-	-	-	-	●	-	x	-	-	x	x	-	-	●	★	-	-	-	x	-	x	-	-	-	-	-	-	★		
7/6	●	-	-	●	●	-	-	-	●	●	x	-	x	●	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	●		
7/7	-	-	-	●	●	-	-	-	○	◎	x	◎	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-		
7/8	-	-	-	●	●	-	-	-	●	-	x	◎	◎	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-		
7/9	-	-	-	-	●	●	-	-	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-		
7/10	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	○	-	●	-	-	x	-	-	-	-		
7/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
7/12	-	●	-	-	-	-	-	-	-	x	-	-	x	●	x	-	-	x	x	-	x	-	-	-	x	-	-	-	x	-	-		
7/13	-	-	●	★	-	-	-	-	●	x	x	●	x	●	x	◎	●	x	x	-	x	-	●	●	x	●	-	●	x	●	-	●	
7/14	-	-	●	-	-	-	-	-	-	x	○	-	◎	◎	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	-		

凡例 ●:感染好適条件(前5日間の日平均気温が20~25℃で、感染好適葉面湿潤時間を満たしている)
 ◎:準感染好適条件(前5日間の日平均気温が20~25℃で感染好適葉面湿潤時間に1hr不足しているが、湿潤時間は10hr以上ある)
 ○:準感染好適条件(前5日間の日平均気温が20~25℃で感染好適葉面湿潤時間に2hr以上不足だが、湿潤時間は10hr以上ある)
 ☆:前5日間の日平均気温が18~20℃か25~27℃で、湿潤時間が10hr以上ある
 ★:☆条件であるが5日間の日平均気温が20~25℃になった前歴がある(感染好適条件と読みかえる)
 x:判定不能
 -:感染好適条件なし

感染好適葉面湿潤時間:感染に必要な葉面湿潤時間で10hr以上必要。湿潤時間中の平均気温により必要時間が異なる。

補足 BLASTAMとは、気象庁のアメダス(AMeDAS)データを利用し、いもち病菌の感染に好適な気象条件がそれぞれの観測地点で成立したかどうかを判定するコンピューターを利用した発生予察システムのことである。

※ 6月25日以前の判定結果は、7月4日発表「令和4年度農作物病害虫防除速報 No. 8 (水稲編-4)」を参照のこと。

☆ 農薬危害防止運動実施中(6/1~8/31) ☆

【利用上の注意】

- ・ 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬使用の際は(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

アドレス <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

